

ICEF2015でセメントセッション開催

10月7～8日、ホテル椿山荘東京(東京・目白)でInnovation for Cool Earth Forum(ICEF)の第2回年次総会が開催された。このなかで、7日には分科会セッションとしてセメント分科会が開催された。

ICEFは、2013年に安倍総理大臣の提唱により、エネルギー・環境分野のイノベーションにより気候変動問題の解決を図るため、世界の学会・産業界・政府関係者間の議論と協力を促進するための国際的なプラットフォームとなることを目的としたもの。

フォーラムは、3件の大きなテーマを取り扱った本会議のほか、さまざまな産業や技術を対象とした19の分科会が開かれ、世界各国から政府高官、国際金融機関、著名な学者、NGOなど一線の研究者が集まり議論が進められた。

セメント分科会では、座長であるVincent Mages氏(WBCSD CSI, ラファージュホルシム社)より、セメント産業の「現状把握-ロードマップの検討-将来の施策実施」についてレビューと議論が目的のセッションであることが確認され、続いて以下の5名が登壇し講演を行った。

1. Philippe Fonta氏(WBCSD CSI)

“State and barriers for CO₂ emissions reductions in cement sector”と題し、WBCSD/CSI(持続可能な発展のための世界経済人会議・セメント産業部会)の取組みを紹介し、LCTPiを通じて2030年にCO₂の排出削減量を20～25%にするという野心について講演。

2. S.K.Handoo氏(CMA社・インド)

“Low-Carbon Technology for Indian Cement Industry -A Roadmap”と題

し、インドのセメント産業の紹介とCO₂排出量削減に向けたロードマップ作成の動きと気候変動に向けた国家的アクションプランとしてのエネルギー多消費産業に対する「エネルギー取引制度(PATスキーム)」を紹介した。

3. Diane Thomas氏(Mons大学・ベルギー)

“Cement Research Academy(ECRA) Academic Chair at the University of Mons on CO₂ capture and reuse applied in the cement industry”と題し、ECRAについて紹介した後、セメント産業でのCO₂回収・貯留・再利用技術(CCS&CCU)の利用に関する展望とそれに関するさまざまな技術の紹介を行った。

4. Eric Masanet氏(IEA)

“IEA Energy Technology Perspectives for the Cement Industry”と題し、IEA/世界エネルギー機関でのCO₂排出量について、IPCCの温度上昇シナリオを目指した場合の必要施策推定結果の紹介とETP2015の結果とあわせ、将来的に革新的技術が必要であることをアピールした。



パネルディスカッションのようす



講演を行う小川委員長代行

5. 小川賢治氏(太平洋セメント㈱,(一社)セメント協会生産・環境委員会委員長代行)

“GHG reductions in cement industry and the contribution to social infrastructure” と題し、日本の低炭素社会に向けた省エネの取り組み、循環型社会に向けた廃棄物の有効利用、さらに災害廃棄物有効利用の紹介を行ったうえで、単純に低炭素化だけでなく、持続可能な社会構築に向けたセメントを

始めとした各産業の評価も必要であると語った。

以上の講演に続き、座長と講演者5名によるパネルディスカッションでは会場からの質問を中心に活発な討論が行われた。また最後に、座長からセメントセクターとしての低炭素化手法は世界共通(省エネ・エネルギー代替廃棄物・混合材の活用)であるものの、これだけでは限界があること、そのためCCSなどの革新的技術開発の必要性について、また国や地域の事情に沿ったそれぞれのロードマップで検討することが望ましいなどの総括があり、今後も引き続き情報交換を進めることを確認して幕を閉じた。

事務局人事

セメント協会の時政 宏常務理事は、10月末日付けで退任した。同理事は2007年6月に国土交通省国土技術政策総合研究所を経て協会常務理事に就任、現在に至る。

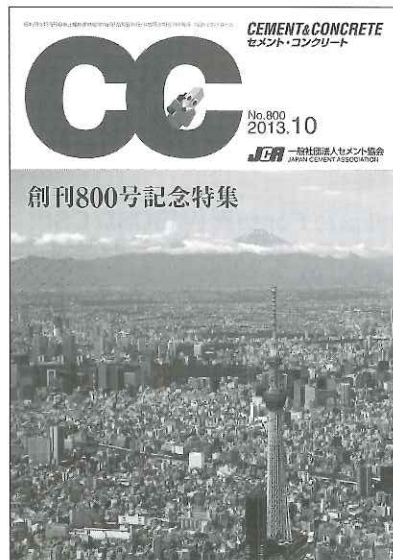
セメント・コンクリートのバックナンバー

月刊セメント・コンクリート2013年10月号
創刊800号記念特集

●セメント技術の現状と課題 ●セメント製造と環境への貢献 ●800号記念企画 インタビュー／女性技術者とセメント・コンクリート 須田久美子さん(鹿島建設㈱)に聞く 自分を磨くこと、そして続けること—多くの縁に支えられて

特集 国土強靱化に挑む／セメント・コンクリートが貢献できること

●総論 社会資本の計画・設計・管理思想を考える ●特別寄稿「伝える」から「伝わる」へ、社会を支える“土木のチカラ”／どう伝える?生活者目線での公共事業 ●海洋空間の有効利用と海洋再生可能エネルギーへの期待 ●津波や竜巻をはじめとする自然災害から住民を守る 災害拠点総プロのスタートに寄せて ●ゼネコン各社の防災・減災への取り組み ●セメント系固化材による地盤改良の効果《セメント系固化材技術専門委員会・普及専門委員会震災調査ワーキンググループ活動報告》 ●Cのイメージ特別編・コンクリート名所案内／復興を支えるコンクリート 復興都市ル・アープルに学ぶ



A4判・96ページ
特別定価2057円
[好評発売中]

お求め・お問合せは
直接当会か最寄りの書店へ

一般社団法人 **セメント協会**

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-4
☎03-5200-5053 FAX03-5200-5062